

令和 6 年度事業報告書・収支決算書

令和 7 年度事業計画書・収支予算書



令和 7 年 6 月 12 日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

令和6年度

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

- (1) 国内外の状況と活動概況
- (2) 国等への要望活動の強化
 - ア. 国等への要望活動等
- (3) 国内外への ILC 誘致実現にむけた活動
 - ア. 国内 PR の強化
 - イ. 海外への情報発信強化
 - ウ. 普及啓発活動
 - エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボ活用支援
- (4) 調査・研究活動
 - ア. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出
 - イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動
- (5) 広報活動
- (6) 組織強化活動
 - ア. 会員増強
 - イ. 産・学・官・関係機関との連携
- (7) 諸会議等
- (8) 会員加入状況

(1) 国内外の状況と活動概況

国際リニアコライダー（ILC）をめぐる国際情勢は、中国が計画を進める周長 100 km の巨大円形加速器（CEOC）は、2023 年 12 月に技術設計書が策定され、2026 年 3 月に公表される中国政府の第 15 次科学技術 5 か年計画に採択されれば、2027 年建設開始、2030 年代の実験開始が見込まれている。

それを見据えた欧州は欧州素粒子物理戦略更新スケジュールを 1 年前倒しし、戦略更新に向けた意見書の提出期限を 2025 年 3 月とした。その後、集中的な議論が行われ、2026 年 6 月に戦略が更新される予定である。

米国では、2023 年 12 月、素粒子物理学プロジェクト優先順位決定委員会が、「ヒッグスファクトリーは極めて重要だが自国には建設せず、欧州の FCC-ee と ILC という海外プロジェクトに大きな役割を果たすことを推奨。建設される場合、10 年間で 10～30 億ドル（円換算 1,450 億円～4,350 億円）を想定する」と公表している。

国内では、2024 年 10 月に行われた衆議院議員選挙で、ILC 国会議員連盟塩谷会長の勇退や役員 の落選などがあり、議員連盟の新体制による再始動が待たれるところである。

一方、同年 12 月には、自由民主党政務調査会の「科学技術・イノベーション戦略調査会」において、ILC に関する議論が始まり、同戦略調査会大野敬太郎会長は、「議連からステージが上がった」との認識を示している。

このような中、当推進協議会は ILC の早期実現のためには、日本政府からの早期の前向きな方針が示されることが重要であるとの認識の下、鈴木俊一自由民主党総務会長（前財務大臣）、小野寺五典政務調査会長はじめ東北選出国會議員、経済 3 団体等に積極的な支援を要請する活動を一年を通して行うとともに、科学技術・イノベーション戦略調査会役員に対しても ILC への支援を強く訴えているところである。

その活動においては、現代社会の重要課題への加速器の役割について理解いただくため、特に産業のイノベーション、地方創生波及効果をまとめたガイドラインシリーズ 9 「先端加速器（ILC）技術の社会への貢献 - 日本の未来の牽引力・稼ぐ力の創出 - 」を発売して、活用した。

さらに、ILC 建設のための具体的な調査・検討を進めている東北 ILC 事業推進センターと連携を強化し、現地課題や受入れ態勢の整備等の準備活動に積極的に取り組み、ガイドラインシリーズ 8 「北上山地に特化したトンネル設備設計」を発売した。

また、ILC 日本誘致実現は国民全体の盛り上がりが必要なことから、当協議会として初めて「Tic Tok」を主な情報媒体とした ILC 普及動画を制作・発信し、その再生回数は約 230 万回に達している。

7 月開催の ILC 公開講演会には、カリフォルニア大学バークレー校の村山 斉教授を、12 月には高エネルギー委員長京都大学中家 剛教授と ILC-Japan スポークスパーソン・東京大学石野雅也教授を招聘して、盛会裏に開催することができた。

海外への情報発信においては、7 月にグリーン ILC 論文の編集で来県された欧州 3 名の研究者との意見交換を行うとともに、「国際会議 LCWS2024 東京」における受け入れ態勢整備状況の PR、さらに、1 月には欧州における ILC に関する国際協働への協力要請を目的に岩

手県佐々木副知事、岩手県議会、首長が参加する令和 6 年度欧州訪問に当協議会から鎌田副会長が参加した。また、4 回目となる国内外の学生が学ぶ「Iwate Collider School」の開催支援を行った

以上のとおり、令和 6 年度は、各種の啓発活動も切れ目なく展開するなど、岩手県 ILC 推進局、ILC 関係団体とともに積極的に事業を展開した。

(2) 国等への要望活動の強化

ア. 国等への要望活動等

① 日本商工会議所との打合せ

令和 6 年 4 月 26 日（金）/日本商工会議所会議室

出席者：日本商工会議所地域振興部

岩手県立大学山下了特任教授、猿川事務局長、葛尾事務局次長

- ・国内外の ILC をめぐる情勢、内閣府と文科省との連絡会議設置などの情報を共有し、ILC 日本誘致実現への継続的な支援を要請した。

② 鈴木俊一財務大臣（国会議連副会長）、伊藤信太郎環境大臣（同 幹事長）との懇談会

令和 6 年 5 月 16 日（木）/ザ・キャピトルホテル東急「星ヶ岡」

出席者：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長

- ・国内外の ILC をめぐる情勢、内閣府と文科省との連絡会議設置などの情報を共有し、今後の ILC 日本誘致実現の推進について意見交換を行った。

③ ILC 国会議連幹部、候補地選出国會議員等との面談

令和 6 年 5 月 17 日（金）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問先：西村明宏衆議院議員（幹事）、田村憲久衆議院議員（副会長）、大塚拓衆議院議員（幹事長代理）、藤原崇衆議院議員（事務局次長）、櫻井充参議院議員

出席者：岩手県立大学鈴木学長、猿川事務局長、葛尾事務局次長

- ・国内外の ILC をめぐる情勢、内閣府と文科省との連絡会議の設置などの情報を共有し、今後の ILC 日本誘致実現の推進について意見交換を行った。

④ 増田寛也 ILC100 人委員会代表、日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和 6 年 5 月 23 日（木）/日本郵政㈱応接室、日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席者：増田寛也 ILC100 人委員会代表

日本商工会議所地域振興部

経済同友会 齋藤事務局長・代表理事

岩手県立大学鈴木学長、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長、葛尾事務局次長

・国内外の ILC をめぐる情勢、内閣府と文科省との連絡会議設置などの情報を共有し、今後の ILC 日本誘致実現の推進について意見交換を行った。

⑤ 小野寺五典衆議院議員（国会議連副会長）との昼食懇談

令和 6 年 6 月 7 日（金）/ザ・キャピトルホテル東急「水簾」

出席者：小野寺五典衆議院議員、鈴木俊一財務大臣（代理：鈴木財務大臣秘書官）、
岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、
谷村会長（代理：猿川事務局長）

・国内外の ILC をめぐる情勢、先端加速器（ILC）技術の現代社会課題への貢献について説明。国会議員内における ILC 日本誘致実現への議論の推進について意見交換を行った。

⑥ ILC 国会議連幹部との面談

令和 6 年 6 月 27 日（木）/衆議院議員会館

訪問先：田村憲久衆議院議員（副会長）、大塚拓衆議院議員（幹事長代理）、鈴木俊太郎財務大臣秘書官

出席者：岩手県立大学鈴木学長、同 山下特任教授、猿川事務局長

・国内外の ILC をめぐる情勢、先端加速器（ILC）技術の現代社会課題への貢献について説明。国会議員内の ILC 議論の推進について意見交換を行った。

⑦ 東北選出国會議員事務所訪問（31 か所）

令和 6 年 7 月 19 日（金）/衆議院議員会館、参議院議員会館

訪問者：猿川事務局長

・ ILC をめぐる海外の動向等、先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献についての資料をポイントに整理し、ILC 日本誘致実現に向けて支援・協力を依頼した。

⑧ 大野敬太郎衆議院議員（国会議連事務局長）、大塚拓衆議院議員（同幹事長代理）、藤原崇衆議院議員（同事務局次長）との打合せ

令和 6 年 7 月 23 日（火）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、猿川事務局長

・ ILC をめぐる海外の動向等、先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献についての資料をポイントに整理し、説明。国会議員内の議論の進め方について意見交換を行った。

⑨ 増田寛也 ILC100 人委員会代表、日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和 6 年 7 月 24 日（水）/日本郵政㈱応接室、日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席者：増田寛也 ILC100 人委員会代表

日本商工会議所地域振興部

経済同友会 齋藤事務局長・代表理事

岩手県立大学鈴木学長、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長、

葛尾事務局次長

- ・ ILC をめぐる海外の動向等、先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献について資料をポイントに整理し、説明。ILC 日本誘致実現の推進について意見交換を行った。

⑩ 櫻井充参議院議員、文部科学省との勉強会

令和 6 年 8 月 5 日（月）/参議院議員会館地下 B-108 号

出席者：櫻井充参議院議員、文部科学省担当官 2 名

建設候補地：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、岩手県箱石 ILC 推進局長、猿川事務局長

- ・ ILC 計画推進についてこれまでの経緯、現在の ILC をめぐる国際状況、先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献について説明。文部科学省担当官と意見交換を行った。

⑪ 鈴木俊一財務大臣（国会議連副会長）、西村明宏衆議院議員（同 幹事）との昼食懇談会

令和 6 年 8 月 8 日（木）/ザ・キャピトルホテル東急「水簾」

出席者：谷村会長、岩手大学・岩手県立大学吉岡 正和客員教授、猿川事務局長

- ・ 国内外の ILC をめぐる状況、先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献について説明し、今後の ILC 日本誘致実現の推進について意見交換を行った。

⑫ 櫻井充参議院議員、財務省との勉強会

令和 6 年 8 月 27 日（火）/参議院議員会館 1 階会議室

出席者：櫻井充参議院議員、財務省担当官 2 名

建設候補地：岩手県立大学鈴木学長、岩手県佐々木副知事、箱石 ILC 推進局長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・ 先端加速器（ILC）技術の現代社会への貢献について説明。財務省担当官と質疑応答、意見交換を行った。

⑬ ILC 推進連絡会議

令和 6 年 9 月 5 日（金）/ホテルメトロポリタン盛岡 NW「対い鶴」

出席者：谷村会長、岩手県佐々木副知事、岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、齋藤理事、猿川事務局長

- ・ 8 月までの国会議員面談などの ILC 支援要請活動についての報告と今後の推進活動について意見交換。補正予算などを視野に東京でのイベント（シンポジウム）開催や経済 3 団体へのメッセージ要請など ILC 推進スケジュールを共有し、国会議員への働きかけなど今後の活動方針について共有した。

⑭ 令和6年度岩手県選出国會議員・中央省庁要望（岩手県商工会議所連合会）

令和6年9月18日（水）/復興庁、財務省、文部科学省、中小企業庁、
ホテルグランドアーク半蔵門

出席者：谷村会長、鎌田副会長ほか県内商工会議所会頭（理事）、専務理事

- ・要望先：復興庁 宇野 善昌 事務次官
財務省 鈴木 俊一 財務大臣
文部科学省 塩見 みづ枝 研究振興局長
中小企業庁 山下 隆一 中小企業庁長官

- ・地元選出国會議員要望、懇談会：ホテルグランドアーク半蔵門
藤原崇衆議院議員、階 猛衆議院議員、横沢高德参議院議員、鈴木俊一財務大臣
（懇談会）、小沢一郎衆議院議員（代理）

要望書 「東日本大震災津波被害からの復興完遂と、その先を見据えた岩手県経済の再生
に向けて」

⑮ 増田寛也 ILC100人委員会代表との打合せ

令和6年10月31日（木）/日本郵政(株)応接室

出席者：岩手県立大学鈴木学長、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長
・前回（7月24日）以降の活動状況の報告と「東北経営者大会」盛岡開催時の ILC 講演など
経済界の会合での ILC 日本誘致実現に向けた活動について説明。今後の推進活動につ
いて意見交換を行った。

⑯ 自由民主党鈴木俊一総務会長、小野寺五典政務調査会長との面談

令和6年11月25日（月）/自由民主党本部総務会長室

出席者：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、
猿川事務局長
・国会議員内の議論、ILC 国会議連の再始動を要請するとともに、「東北経営者大会」盛岡
開催時の ILC 講演など経済団体等に対する ILC の日本誘致実現への支援要請状況を説明
し、意見交換を行った。

⑰ 増田寛也 ILC100人委員会代表、日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和6年12月23日（月）/日本郵政(株)応接室、日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席者：増田寛也 ILC100人委員会代表
日本商工会議所地域振興部
経済同友会 齋藤事務局長・代表理事
岩手県立大学鈴木学長、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長、
葛尾事務局次長
・自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」における ILC 計画のヒ

ヤリング、日本商工会議所に対する東日本大震災要望などの活動について説明し、早期の ILC 日本誘致実現の推進方策について意見交換を行った。

⑱ 和田政宗参議院議員（宮城県：全国区）との面談

令和7年2月17日（金）/仙台市：江陽グランドホテル

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

⑲ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

大野敬太郎会長との面談

令和7年2月17日（金）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。
- 同戦略調査会役員への訪問・説明について了承を得た。

⑳ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

小林鷹之会長代理との面談

令和7年2月21日（金）/衆議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

㉑ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

関芳弘副会長、猪口邦子副会長との面談

令和7年2月25日（火）/衆・参議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

②② 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

有村治子会長代理、片山さつき副会長

自由民主党国土強靱化推進本部 佐藤信明本部長

進藤金日子参議院議員（秋田県）との面談

令和7年3月4日（火）/参議院議員会館、自由民主党本部

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

②③ 増田寛也 ILC100 人委員会代表、日本商工会議所、経済同友会との打合せ

令和7年3月7日（金）/日本郵政㈱応接室、日本商工会議所会議室、経済同友会会議室

出席者：増田寛也 ILC100 人委員会代表

日本商工会議所地域振興部

経済同友会 齋藤事務局長・代表理事

岩手県立大学鈴木学長、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長、葛尾事務局次長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と国内における ILC 推進状況、国民への理解醸成活動を説明。
早期の ILC 日本誘致実現の推進方策について意見交換を行った。

②④ 自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」

福田達夫副会長、渡海紀三郎顧問

東日本大震災復興加速化本部 谷 公一本部長との面談

令和7年3月10日（月）/衆議院議員会館、自由民主党本部

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、大平東北 ILC 事業推進センター事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

②⑤ 小野寺五典自由民主党政務調査会長との面談

令和7年3月16日（土）/宮城県登米市ホテルサンシャイン佐沼

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と科学技術・イノベーション戦略調査会役員ほかとの面談状況など推進状況を説明。「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

②⑥ 佐藤正久参議院議員（福島県：全国区）との面談

令和7年3月21日（金）/参議院議員会館

出席者：岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「国家プロジェクトとして早期の ILC 日本誘致実現」について、意見交換を行った。

②⑦ 鈴木俊一自由民主党総務会長との面談（小野寺五典政調会長冒頭のみ挨拶）

令和7年3月21日（金）/自由民主党本部総務会長室

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、登米市 ILC 誘致推進協議会猪股代表理事、東北 ILC 事業推進センター大平事務局長、猿川事務局長

- ・ 早期の政府からの ILC 日本誘致の意志表明について、候補地（東北）以外の国会議員の理解促進など課題を共有し、意見交換を行った。

②⑧ 漫画家 弘兼 憲史先生との打合せ

令和7年3月21日（金）/東京駅前丸ビル内喫茶

出席：岩手県立大学鈴木学長、猿川事務局長

- ・ ILC をめぐる海外の情勢と加速器による社会課題への活用について持参資料にて説明。
- 「島 耕作」の新作を依頼した。

（3）国内外への ILC 誘致実現に向けた活動

ア. 国内 PR の強化

① 神戸商工会議所川崎会頭（日本商工会議所副会頭）来県に伴う意見交換会

令和6年8月20日（火）/ホテルメトロポリタン盛岡

出席者：川崎会頭、楠山専務理事ほか

谷村会長、県内商工会議所会頭(理事)ほか

- ・ ILC は科学的意義のみならず、超伝導加速器など世界最先端の技術は医療機器や創薬、半導体、産業機器など幅広い分野に応用されることはスプリング8で実証されている。
- ・ 産業のイノベーションが日本経済の未来を創出し、東北の創造的復興につながると確信。日本商工会議所はじめ関係各位の支援をいただき、国として一日も早い日本誘致の決断をするよう活動。関西経済界への ILC 実現への支援を依頼。

② 第76回東北経営者大会

令和6年10月11日（金）/盛岡グランドホテル

主催：東北経営者協会、（一社）岩手県経営者協会

後援：（一社）日本経済団体連合会

参加者：東北各県経営者協会会員 320 名（うち本県 170 名）

来 賓：谷村会長 出席

講 演：「国際リニアコライダー（ILC）の日本誘致早期実現を」

講 師：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長

意見交換テーマ @DX 活用や健康経営の推進による働き手のパフォーマンス向上」

大会決議：政府や関係機関に対する要請

- 生産性の改善・向上への支援
- 適正な価格転嫁に向けた対策強化
- 賃上げや処遇改善に取り組む企業への支援
- ILC の早期実現

特別講演 「元氣な東北」—これからの地域経済社会を考える—

講 師 東日本旅客鉄道(株)相談役

（一社）日本経済団体連合会審議員会議長 富田 哲郎 氏

③ ILC 推進連絡会による活動：ILC 推進団体の連携

ILC 推進連絡会は、ILC の連携推進体制の強化のため、研究者、岩手県 ILC 推進局、地球システム総合研究所 ILC 計画研究会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会で組織され、国内外の推進状況の情報共有と立地関係に関する検討、オールジャパン体制での広報活動など情報共有を行う。

推進連絡会は月 2 回開催（第 104 回～第 122 回）：於 アイーナキャンパス/リモート開催
各団体によるイベント・シンポジウム・講演会等の情報を共有。中国の巨大加速器計画が進展し、それを見据えて欧州素粒子物理戦略が 1 年前倒しになるなど ILC をめぐる海外の情勢や LSWS2025 東京への出展などイベント情報、立地に関する調査研究など、ILC を取り巻く国内外の状況を共有した。

イ. 海外への情報発信強化

① グリーン ILC 論文編集会議に係る意見交換会

世界の大型加速器プロジェクトの建設、運用、実験終了後の対応において、環境への影響を最小化し、持続可能な社会実現のための取組が必須となっている。このような背景の下、国内外の研究者間で、それら取組の現状と今後の課題を共有することを目的にグリーン ILC 論文編集会議が一関市で開催された。

終了後、ILC 日本誘致実現に向けて、欧州研究者から現状の認識と今後の進め方についての意見交換を地元行政、ILC 関係団体をメンバーとして実施した。

日 時：令和 6 年 7 月 5 日（金）

場 所 一関市「せきのいち」

海外研究者：Steinar Stapnes 氏（CERN; 欧州原子核研究機構、スイス）

Maxim Titov 氏（CEA Saclay 研究所、フランス）

Thomas Schoerner-Sadenius 氏（DESY 研究所、ドイツ）

日本人研究者：吉岡正和岩手大学・岩手県立大学客員教授、山下了岩手県立大学特任教授
参加者：佐々木副知事、佐藤一関市長、倉成奥州市長、菅原気仙沼市長、鈴木東北 ILC 事業推進センター代表（岩手県立大学長）、谷村岩手県 ILC 推進協議会会長（代理：猿川事務局長）、小岩一関市・平泉町 ILC 誘致推進協議会会長、猪股登米市 ILC 誘致推進協議会代表理事、箱石岩手県 ILC 推進局長



欧州研究者との意見交換

② LCWS2024 東京

高エネルギー電子・陽電子リニアコライダーに関連する物理、検出器、加速器の研究を目的として長年にわたって開催されてきたワークショップ。ポスターセッションに岩手県、東北 ILC 事業推進センターと参加した。

日 時 令和6年7月8日（月）～11日（木）

場 所 東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール

○講演内容・時間等

- (1) 鈴木厚人東北 ILC 事業推進センター代表（岩手県立大学長）

ILC Site-Specific Activities by Tohoku ILC Project Development Center

7月9日（火）13:50～

- (2) 吉岡正和岩手大学、岩手県立大学客員教授

Efforts toward a Green ILC in Japan

7月9日（火）15:45～

- (3) 高橋徹広島大学准教授

ILC Vanguard Initiative

7月9日（火）13:35～Jul 9, 2024, 1:35 p.m., 15m, Ito Hall (Ito Intl. Conf. Center)

- (4) 佐貫智行東北大学准教授

Study on the development schedule for the central area of the ILC in Kitakami

7月9日（火）11:20～

○ポスターセッション

日 時：令和6年7月8日（月）13:00～ 9日（火）15:45

場 所：東京大学本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホールロビー
内 容：LCWS2024 に東北 ILC 事業推進センターがスポンサーとして協賛。
岩手県、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会三者のロゴ及び各団体のリンクを LCWS の HP に掲載。
候補地の受け入れ態勢整備状況を PR のため、東北 ILC 事業推進センターの事業内容等をポスターとして 9 枚作成し、会場に掲出し、海外研究者約 230 名にポスター縮小版を資料として配布した。
また、ポスター前にて、取り組みの紹介や ILC ノベルティグッズを配布した。

③ 令和 6 年度欧州訪問

欧州における国際リニアコライダー（ILC）に関する国際協働への協力要請及び加速器関連研究などの最新の取り組みの調査のため、欧州の主要施設等を訪問した。

(1) 行程（5 泊 7 日）

1 月 26 日（日）～27 日（月） 移動（成田→アムステルダム→ハンブルク）

1 月 28 日（火） DESY 訪問、欧州 XFEL 視察

1 月 29 日（水） 移動（ハンブルク→ジュネーブ）

国際推進チーム（IDT）中田議長面会

1 月 30 日（木） Ferney - Voltarire 市訪問、CERN 訪問

1 月 31 日（金）～2 月 1 日（土） 移動（ジュネーブ→アムステルダム→成田）

(2) 訪問者

岩手県：佐々木副知事、中村 ILC 推進局副局長ほか

県議会：飯澤副議長、岩淵議員、城内議員、佐々木議員

推進協：鎌田副会長

市町村：瀧上大船渡市長、佐藤一関市長ほか

(3) 内容

ア. ドイツ電子シンクロトロン（DESY）

出席者：超伝導加速器主席研究員 Hans WEISE 氏、博士 Jenny LIST 氏、
最高技術責任者 Sabine BROCK 氏、キャンパス開発プロジェクト責任者 Tobio PIEKATZ 氏、国際課国際協力担当 Jana WOLFRAM 氏

視 察：超電導空洞試験施設・AMTF ホール
意見交換

イ. 欧州 XFEL 視察、国際推進チーム（IDT）、 中田議長面会、Ferney - Voltarire 市表敬訪問

出席者：Daniel RAPHOZ 市長ほか

ウ. 欧州原子核研究機構（CERN）訪問

出席者：国際部門非メンバー国担当リーダー
Emmanuel TSESMELIS 氏

意見交換



欧州 XFEL 視察

④ 国際スクール「Iwate Collider School 2025」(共催)

素粒子物理を先導する国内外の講師を招き、基礎から最先端まで高い専門性や国際的通用性を持つ大学院生、若手研究者の育成を目的とした実習形式のスクール合宿が岩手安比高原で開催された。

主催：岩手大学、高エネルギー加速器研究機構 (KEK)、

共催：岩手県 ILC 推進協議会、岩手県立大学

日時：令和 7 年 2 月 24 日 (金) ～3 月 1 日 (土)

場所：ANA クラウンプラザリゾート安比高原

参加者：大学院生、若手研究者 26 名

外国機関所属者 14 名 (ドイツ 1 名、インド 5 名、中国 2 名、香港 2 名、タイ 2 名、フィリピン 1 名、韓国 1 名)、日本機関所属者 12 名 (うち 2 名外国籍)

講師：外国機関所属者 3 名 (欧州)、日本機関所属者 7 名

※国際スクールの写真等含め内容詳細はホームページで公開

<https://ics.sgk.iwate-u.ac.jp/>



国際スクール「Iwate Collider School 2025」

⑤ ILC 英語版広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発刊 (当協議会ホームページ内)

海外の研究者等に ILC の候補地である北上サイトや岩手県内の観光やイベント情報、ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成に努めた。

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日 187 刊～206 刊 (20 刊) 発刊

⑥ ILC サイト紹介動画の国際発信

海外の研究者等に建設候補地周辺地域の日常、風景、暮らしを知ってもらうための地域紹介動画を令和 3 年度に制作、令和 6 年度も SNS により周知を行った。

タイトル 『Iwate prefecture : The ILC candidate site』

ウ. 普及啓発活動①. 公開講演会等

① 未来を切り拓く!! 国際リニアコライダー (ILC) 公開講演会

『宇宙の謎への挑戦が創りだすもの』

日時 令和6年7月1日(月) 13:30~16:00

会場 ホテルメトロポリタン盛岡 NW 「メトロポリタンホール」

主催 岩手県 ILC 推進協議会

共催 岩手県、東北 ILC 事業推進センター

後援 (一社) 先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 推進協議会

内容

開会挨拶：谷村会長

メッセージ：鈴木俊一財務大臣

出席者紹介：階猛衆議院議員、広瀬めぐみ参議院議員

メッセージ(ご芳名のみ紹介)

岩手県選出：藤原崇衆議院議員、横沢高德参議院議員

宮城県選出：小野寺五典衆議院議員、伊藤信太郎環境大臣、西村明宏衆議院議員、
秋葉賢也衆議院議員、櫻井充参議院議員

講演

第一部 「素粒子物理学の未来と ILC」

講師：カリフォルニア大学バークレー校 教授

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 特別教授 村山 斉 氏

第二部 「ILCが秘める“内なるグローバル化”」

講師：(株)グローバリゼーションリサーチインスティテュート 代表取締役社長

NPO 法人 J-WIN ファウンダー・名誉会長 内永 ゆか子 氏

質疑応答

応援メッセージ：岩手大学小川学長

閉会挨拶：岩手県立大学鈴木学長

・会場入場者 480 名 ・8月27日から当推進協議会HPで講演内容を発信



村山 斉 教授



ILC 公開講演会

② 夏休み「ILCと科学」—子供たちのための勉強会—

日時 令和6年8月8日(木) 10:00~16:00

会場 北上市文化交流センター さくらホール feat. ツガワ

対象 小中高生および保護者 約150名

主催 岩手県国際リニアコライダー推進協議会

共催 岩手大学

後援 岩手県、北上市、北上商工会議所、北上市加速器関連産業参入推進協議会、東北 ILC 事業推進センター、いわて加速器関連産業研究会

協力 ILC いわて中部草の根勉強会、(株)近藤設備、高エネルギー加速器研究機構

内容 (1) ILC 出前授業:「ILC って何?」

講師:岩手大学理工学系技術部 技術室長 藤崎 聡美 氏

(2)・科学実験体験コーナー(超伝導ジェットコースター、発電体験)

・科学模型製作コーナー(傘ラジオの製作、霧箱の製作)

(3) 模型展示コーナー(超伝導加速9セル空洞の模型、ILC 内部のVR体験)



超伝導ジェットコースター体験



傘ラジオ制作

③ 第13回グリーン ILC セミナー(共催):HP から動画配信

主催 岩手県、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会

日時 令和6年11月8日(金) 13:30~16:30

会場 大船渡魚市場3階多目的ホール

挨拶 大船渡市長 淵上 清 氏

概況説明

講演 「ILCの最近の動向とグリーン ILCについて」

講師:東北 ILC 事業推進センター事務局長 大平 尚 氏

「旋回流誘引型空調による高精度環境の構築について」

講師:高砂熱学工業株式会社 アドバイザー 佐藤 現 氏

「森林内自立飛行ドローンを活用した森林の付加価値向上に向けた取組について」

講師:鹿島建設株式会社 技術研究所 主席研究員 山田 順之 氏

「太平洋セメント株式会社におけるカーボンニュートラルに向けた取組について」

講師：太平洋セメント株式会社 カーボンニュートラル技術開発部
部長 石田 泰之 氏

パネルディスカッション ファシリテーター

吉岡 正和 氏（岩手大学・岩手県立大学客員教授）

④ 未来を切り拓く!! 国際リニアコライダー（ILC）公開講演会

～ILCの実現と日本誘致のために～

— 研究者代表からのメッセージ —

日時 令和6年12月2日（月）14：00～16：00

会場 ホテルメトロポリタン盛岡 NW 「メトロポリタンホール」

主催 岩手県 ILC 推進協議会

共催 岩手県、東北 ILC 事業推進センター、ILC 実現建設地域期成同盟会

後援 （一社）先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 推進協議会

内容

開会挨拶：谷村会長

メッセージ：鈴木俊一自由民主党総務会長、小野寺五典自由民主党政務調査会長

メッセージ（ご芳名のみ紹介）

岩手県選出：階猛衆議院議員、木戸口英二参議院議員、横澤高德参議院議員

宮城県選出：森下千里衆議院議員、櫻井充参議院議員

講演

「ILCの実現と日本誘致に向けた高エネルギー委員会の役割」

講師：高エネルギー委員会 委員長

京都大学大学院理学研究科 教授 中家 剛 氏

「ILC - Japan の組織と活動」

講師：ILC - Japan スポークスパーソン

東京大学素粒子物理国際研究センター長 石野 雅也 氏

「先端加速器（ILC）技術の社会的課題への貢献」

—国家プロジェクトとしての ILC の実現—

講師：一般社団法人日本加速器学会 会長

広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授 栗木 雅夫 氏

質疑応答

閉会挨拶：岩手県立大学鈴木学長

・会場入場者 330 名

・1月22日から当推進協議会HPにて講演内容を公開発信



中家 剛 教授



ILC 公開講演会

⑤ 第 14 回グリーン ILC セミナー（共催）：HP から動画配信

主催 岩手県、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会

日時 令和 7 年 2 月 19 日（水）13：30～16：30

会場 ホテルシティプラザ北上 銀河・白鳥の間

挨拶 北上市長 八重樫 浩文 氏

概況説明

講演 「ILC の最近の動向とグリーン ILC について」

講師：東北 ILC 事業推進センター事務局長 大平 尚 氏

「CCS に係る日本 CCS 調査株式会社の取組と今後の見通し」

講師：日本 CCS 調査株式会社 常務取締役 川端 尚志 氏

「日本製鉄のカーボンニュートラルに向けた取組について」

講師：日本製鉄(株)北日本製鉄所 総務部釜石総務室 室長 神座 義久 氏

事例紹介 「未利用熱エネルギーの回収と地域内循環利用に向けた取組について」

講師：東日本機電開発株式会社 代表取締役 水戸谷 剛 氏

「まちづくり共同研究の成果報告について」

講師：株式会社 NTT アーバンソリューションズ総合研究所

街づくりデザイン部上席研究員 上田 里絵 氏

株式会社復建技術コンサルタント

都市・環境部まちづくり支援室室長 高橋 雄志 氏

パネルディスカッション ファシリテーター

吉岡 正和 氏（岩手大学・岩手県立大学客員教授）

⑥ 盛岡商工会議所創立 100 周年記念式典

日時 令和 7 年 2 月 2 日（日）13：30～ 会場 盛岡市民文化ホール 大ホール

来賓挨拶 小林 健 日本商工会議所 会頭

佐竹 佳典 東北経済産業局長

達増 拓也 岩手県知事

・盛岡商工会議所創立 100 周年記念講演会 15:00~16:30

講演 第一部「島耕作と ILC」

講師：漫画家 弘兼 憲史 先生

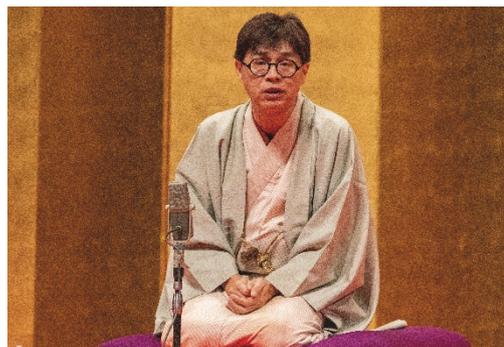
第二部「盛岡と志らく」

講師：落語家 立川 志らく 師匠

会場入場者 約 1,000 名



弘兼 憲史 先生



立川 志らく 師匠

ウ. 普及啓発活動②. その他（後援・協力等）

① （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和 6 年 5 月 27 日（月）14:00~16:00 於：赤坂インターシティコンファレンス

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「変化する宇宙開発、日本の強みと課題」

講師：日本経済新聞編集委員 小玉 祥司 氏

講演：「ILC 推進の現状 グローバル計画の展開」

高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井 祥仁 氏

② （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和 6 年 7 月 12 日（金）14:00~16:00 於：ANA インターコンチネンタルホテル

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「『煙の出ない戦争』インテリジェンスの実態 ～日本はどのように備えるのか～」

講師：（一財）キャノングローバル戦略研究員 主任研究員 峯村 健司 氏

出席：齋藤理事、猿川事務局長

③ VACUUM2024 真空展「国際リニアコライダー計画展」（協力）

令和 6 年 9 月 18 日（水）～9 月 20 日（金） 於：東京ビッグサイト（東京都）

主催：（一社）日本真空工業会、（公財）日本表面真空学会、日刊工業新聞社

来場者数：延べ 43,271 名

内容：岩手県・北上サイト周辺自治体、いわて産業振興センター、いわて加速器関連産業研究会と連携して実施。

主催者展示ブースは、超伝導加速器空洞大型ポスター展示、ILC リーフレットや観光パンフレットによる北上サイト周辺自治体のPR を行った。ブース来場者数は約 700 名。

企業展示ブースでは、いわて加速器関連産業研究会の活動を紹介。

同時開催：2024 洗浄総合展、Japan Robot Week2024、先端材料技術展 2024、スマートファクトリーJapan2024、高精度・難加工技術展 2024、表面改質展 2024



VACUUM2024 真空展 ILC ブース

④ 「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」(後援)(参加者：ハイブリッド 約 100 名)

令和 6 年 9 月 26 日 (木) 15 : 00 ~ 17 : 00 於：アーバンネット仙台中央ビル

カンファレンス A・B

主催：東北 ILC 推進協議会

後援：(一社) 先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、ILC 実現建設地域期成同盟会、大船渡市 ILC 推進協議会、気仙沼地区商工団体連絡会、一関市・平泉町 ILC 誘致推進協議会、陸前高田市 ILC 誘致促進協議会、奥州市 ILC 推進連絡協議会、気仙沼市国際リニアコライダー推進協議会、登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会、栗原市 ILC 誘致推進協議会

講演：「ILC の学術的意義と実現に向けた現状と課題」

講師：ILC ジャパン 代表 石野 雅也 氏

出席：齋藤理事、猿川事務局長

⑤ 令和 6 年度岩手県工業技術センター 一般公開 (協力)

日時：令和 6 年 10 月 5 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 30 於：岩手県工業技術センター他

主催：(地独) 岩手県工業技術センター

共催：(一社) 岩手県発明協会、(公財) いわて産業振興センター、(株)イーハトーブ・スクエア

内容：岩手 ILC 連携室・オープンラボ見学

来場者数：1,295 名

⑥ （一社）国際経済政策調査会「PSG 特別セミナー」（協力）

令和6年10月28日（月）15:00～16:30 於：ANA インターコンチネンタル東京

主催：（一社）国際経済政策調査会（吉岡 正和代表理事）

講演：「新体制下の日米安全保障～経済力・科学技術力・文化力・国防力を抑止力の源泉として～」

講師：元駐米大使、現 JR 東海顧問 加藤 良三 氏

出席：齋藤理事、猿川事務局長

⑦ 第10回みちのく共生会講演会（協力）

日時：令和6年11月1日（金）16:00～17:15 於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

主催：みちのく共生会（みちのくコカ・コーラボトリング株）

講師：岩手大学理工学部 物理・材料理工学科 数理・物理コース教授

成田 晋也 氏

演題：「ILCの最近の状況と東北の取り組み」

出席：120名

⑧ 令和6年度いわての高校生 サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト（共催）

令和6年12月15日（日）10:00～16:00 於：アイーナ岩手県民情報交流センター

主催：岩手県

共催：岩手県教育委員会、岩手大学、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

内容：岩手県内の高校生・高専生による物理・化学・工学のいずれかの分野に関する研究などの成果発表をコンテスト形式で行うもの。

6校9チーム参加（盛岡第三、水沢、盛岡第一、黒沢尻北、釜石、盛岡中央）

知事賞：盛岡第三高等学校 理数探究コース物理1班（2年生）

⑨ 「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」（共催）（参加者 約130名）

令和7年1月14日（火）14:00～15:20 於：アーバンネット仙台中央ビル

主催：東北 ILC 推進協議会

共催：（一社）先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会、ILC 実現建設地域期成同盟会

講演：「ILCが拓く未来」

講師：カリフォルニア大学バークレー校 教授

東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構 特別教授

村山 齊 氏

⑩ 2025 国際宇宙産業展 ISIEEX (協力)

令和7年1月29日(水)～1月31日(金)

於：東京ビッグサイト(東京都)

主催：日刊工業新聞社

来場者数：延べ26,268名

内容：岩手県 ILC 推進局と連携して実施。ブース付近の来場者へのパンフレット配布、ILC の広報戦略に役立てるためのアンケートへの回答依頼、回答者への普及啓発グッズプレゼントを実施。ブース来場者数は約600名。

同時開催：防災産業展2025、グリーンインフラ産業展2025、G空間EXP02025

エ. 岩手県 ILC 連携室・オープンラボの活用支援

・平成30年4月、ILCの中核部品であるクライオモジュールの実機の展示や ILC の関連情報を集約して、ILC への参入を目指すものづくり事業者や興味を持つ児童、教師など誰もが学習・研究できる拠点として岩手県先端科学技術研究センター内に開設。

また、令和4年度より施設を拡充し、令和6年4月には新たに「RF加速空洞の加速電場性能評価試験のためのビーズ測定装置」を設置して公開した。

実験設備オープンラボ及び実験室にて、実験実習チャレンジ部を高エネルギー加速器研究機構早野仁司名誉教授を招いて年5回実施した。

見学者 29団体 117名

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)



岩手県 ILC 連携室・オープンラボ

(4) 調査・研究事業

ア. ILCに関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会他と連携したセミナー

① 令和6年度総会・第1回 ILC 技術セミナー(後援)

令和6年5月29日(水)14:00～/於：トーサイクラシックホール岩手4-1会議室

主催：いわて加速器関連産業研究会

基調講演「超伝導加速器の開発とその応用利用について」

阪井 寛志 氏(高エネルギー加速器研究機構

応用超伝導加速器イノベーションセンター センター長)

企業紹介 金属技研(株) 相談役 土屋 将夫 氏

② 第2回 ILC 技術セミナー(後援)

令和6年9月12日(木)13:30～/於：岩手 ILC 連携室・オープンラボ

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1：「超伝導加速器空洞の製作とシステム運用」

道前 武 氏（高エネルギー加速器研究機構 加速器研究施設 准教授）

講演2：「ILC 推進ブロードリスニングについて」

福山 宏 氏（株地域活性化総合研究所 代表取締役）

③ 第3回 ILC 技術セミナー（岩手大学・第23回加速器技術連続セミナー）（後援）

令和6年11月28日（木）14:00～／於：岩手大学・復興祈念銀河ホール

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1：「NanoTerasu の紹介と XAFS 測定の事例紹介」

矢板 毅 氏（量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu 総括事務局 次長）

講演2：「放射光で切り開く地場産業～佐賀県編～」

廣沢 一郎 氏（公益財団法人佐賀県産業振興機構九州シンクロトロン光研究センター ビームライン長 廣沢 一郎 氏）

NanoTerasu 利用報告：「岩手大学における NanoTerasu 利用概要」

吉本 則之 氏（岩手大学理工学部教授／研究担当理事特別補佐）

利用事例1：玉田 なのは 氏（岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻）

利用事例2：會澤 純雄 氏（岩手大学理工学部准教授）

④ 第4回 ILC 技術セミナー（後援）

令和6年12月19日（木）13:00～／於：岩手 ILC 連携室・オープンラボ

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手県立大学・橋爪商事株

内容：挨拶 いわて加速器関連産業研究会 会長 水戸谷 剛 氏

講演1 「ILC とまちづくり」

吉岡 正和 氏（岩手県立大学、岩手大学 客員教授）

講演2 「NPO 法人 IRC プロジェクトについて」

阿部 嵩生 氏（NPO 法人 IRC プロジェクト 理事長）

講演・実習 「Matterport によるデジタルツインの実現」

関 良平 氏（有リビング CG 代表取締役）

岡田 篤史 氏（有リビング CG）

⑤ 第5回 ILC 技術セミナー（後援）

令和7年2月26日（水）14:00～／於：マリオス 185・186 会議室

主催：いわて加速器関連産業研究会

講演1 「ゲノム/オミックス研究の現況～社会実装に向けて」

清水 厚志 氏（岩手医科大学 医歯薬総合研究所生体情報解析部門 教授）

講演2 「工藤電機の加速器関連事業のご紹介」

岩淵 裕一 氏（工藤電機株 営業部マネージャー）

イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動

東北 ILC 事業推進センターは、ILC 国際推進チームはじめ研究者コミュニティと密接な連携の下、建設候補地周辺の関係機関が協働して建設に必要な条件整備、受け入れ態勢の整備等について、地域が主導して検討を進めることを目的としている。

構成団体：岩手県、宮城県、仙台市、盛岡市ほか候補地周辺自治体、東北大学、岩手大学、岩手県立大学、岩手県 ILC 推進協議会 22 団体

連携機関：(一社) 先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 推進協議会

協力機関：高エネルギー加速器研究機構 (KEK)

代表：岩手県立大学鈴木厚人学長

部会・部会長 地下施設検討部会：東北大学大学院 京谷 孝史 名誉教授

実験措置組立・検査拠点及び物流に関する検討部会：

東北大学 佐貫 智行 准教授

まちづくり・受入環境整備検討部会：岩手県立大学 鈴木 厚人 学長

ILC 理解促進部会：岩手大学 成田 晋也 理工学部教授

加速器関連産業検討部会：岩手大学 吉岡 正和 客員教授

環境影響検討部会：岩手大学 成田 晋也 理工学部教授

グリーン ILC 検討部会：岩手大学 吉岡 正和 客員教授

会議等

○東北 ILC 事業推進センター会議

毎週火曜日 9：00～10：00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室

メンバー：岩手県立大学鈴木学長、岩手大学・岩手県立大学吉岡客員教授、岩手大学成田教授、東北大学山本名誉教授、東北大学京谷名誉教授、東北大学佐貫准教授、岩手県 ILC 推進局、岩手県 ILC 推進協議会（齋藤理事、猿川事務局長）

- ・各部会活動の進捗や課題等について協議のほか、国内外の ILC の最新状況について情報を共有している。

○令和 6 年度総会

令和 6 年 6 月 17 日（月）／書面決議

議事

- (1) 令和 5 年度事業報告及び収支決算の承認について
- (2) 令和 6 年度事業計画案及び収支予算案の決定について

○第 1 回幹事会

令和 6 年 5 月 24 日（金）13：30～15：00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室・オンライン

議題

- (1) 総会提出議案について
- (2) 総会の書面開催について

○第2回幹事会

令和7年1月16日(木)9:30~11:00/オンライン開催

議題

- (1) 令和6年度の部会活動状況等について
- (2) 令和6年度予算の執行見込等について
- (3) 令和7年度事業の基本的考え方等について

○第3回幹事会

令和7年3月27日(木)14:00~15:30/岩手県立大学アイーナキャンパス学習室・オンライン

議題

- (1) 令和6年度事業実績及び決算見込について
- (2) 令和7年度事業計画(素案)及び予算(素案)について

○ILC計画現状説明会

日時 令和6年8月5日(月)14:00~16:00

会場 一関文化センター小ホール

内容 (1) 講演 「ILCの最新動向について」

岩手県 ILC 事業推進センター代表 鈴木 厚人 氏

(2) 東北 ILC 事業推進センター活動状況報告

同 事務局長 大平 尚 氏

○ILC解説セミナー

①日時 令和6年12月8日(日)13:30~15:00

会場 一関保険センター

内容 (1) 「ILCの意義について」

岩手大学工学部 成田 晋也 教授

(2) 「ILCの現状、ILCの安全対策について」

高エネルギー加速器研究機構 道園 真一郎 教授

(3) 「ILCの波及効果と東北 ILC 事業推進センター、岩手県の取組」

東北 ILC 事業推進センター 中村事務局次長

参加者 45名

②日時 令和7年1月25日(土)14:00~15:30

会場 シーパル大船渡

内容 (1) 「ILCの意義について」

岩手大学工学部 成田 晋也 教授

(2) 「ILCの安全対策について」

高エネルギー加速器研究機構

応用超伝導加速器イノベーションセンター 阪井 寛志 センター長

(3) 「ILCの波及効果と東北 ILC 事業推進センター、岩手県の取組」

東北 ILC 事業推進センター 中村事務局次長

参加者 45 名

ウ. ガイドラインシリーズの発刊による国内外への情報発信強化

①「ガイドラインシリーズ8」の発刊

「北上地域に特化したトンネル設備設計」 2024 年 7 月初版

1. ILC（衝突エネルギー＝250GeV）の加速器設計
2. 北上地域に合わせた ILC トンネルと設備機器配置の設計
3. アクセス坑口地上部設備
4. 衝突点地上部設備
5. 衝突点地下部設備
6. アクセストンネル地下部設備
7. 衝突点・ダンピングリング地下部のトンネル構成
8. 電子・陽電子リニアックのトンネル断面

部数 3,000 部



②「ガイドラインシリーズ9」の発刊

「先端加速器（ILC）技術の社会への貢献」

- 日本の未来の牽引力・稼ぐ力の創出 - 2025 年 1 月初版

□国際リニアコライダー（ILC）とは

□国家プロジェクトとして ILC 実現を

先端加速器（ILC）技術の社会への貢献

- 日本の未来の牽引力・稼ぐ力の創出 -

1. 現代社会を支える最重要技術の優位性の確保
2. 現代社会が直面するエネルギー課題の解決
 - ① 加速器駆動未臨界原子炉の実現
 - ② 核廃棄物消滅処理
 - ③ 重イオン核融合発電炉の実現
3. 社会基盤・国土強靱化、危険物・核輸出入検査
 - ① 核物質の非破壊検知・測定システム
 - ② ミュオンによる危険物、地中埋設物探知
 - ③ 道路橋梁老朽化 非破壊検査
 - ④ アスファルト高耐久化
4. 環境課題の解決
電子線照射による殺菌・環境改善



5. 高齢社会への対応
高齢社会の QOL (Quality of Life)
6. 人口減少課題に対する ILC 建設の意義
地方創生と人口減少社会
7. まとめ
大型加速器による新しい社会と産業基盤の形成
ILC : 21 世紀の知の挑戦
8. 欧州原子核研究機構 (CERN) の例
9. ILC 計画の推移 (年表)
部数 3,000 部

③ガイドラインシリーズ7

「ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」の増刷
部数 500 部

(5) 広報活動

①全国向け ILC PR 動画「ILC in Action～科学との出会い～」の制作と発信。

広報媒体は主に「Tic Tok」 3月末現在 動画再生回数 約 230 万回

内容：ILC 日本誘致実現には、国民の盛りあがりがかかせないことから、ターゲットを若者向けに設定し、当推進協議会として初めて「Tic Tok」を主な情報媒体として「科学との出会い」となる動画を制作し、発信した。

映像は鮮明さにこだわり、粒子、ビッグバン、ダークマターなど ILC の概要を盛り込んだ歌詞をラップ系のミュージックとダンスに載せ、ILC 実験のカギである「衝突」に焦点を当て、ILC の意義を訴え、「ILC・科学へのきっかけ」とする。

「ロングバージョン」は 1 分 30 秒

「ダンスバージョン」は 30 秒

総再生数

Tik Tok	： ロング Ver	1,112,375 回
	ダンス Ver	1,116,206 回
You Tube	： ロング Ver	47,508 回
	ダンス Ver	773 回

3 月 31 日現在



「ILC in Action～科学との出会い～」ダンス Ver

出演者：白河芹（主演・女子高生役）
畑中惟吹（男子高校生役）
室田真宏、相馬龍輔、川上葵、藤澤一樹 ほか



「ILC in Action ~ 科学との出会い ~」ロング Ver

報道状況：日本経済新聞 2 月 17 日

岩手日報 3 月 17 日

日本商工会議所「会議所ニュース」3 月 11 日号

盛岡商工会議所ニュース「SANSА」4 月 1 日号



TikTok ダンス Ver



YouTube ロング Ver

②PR 動画周知カード用マルチカードの作成

ILC PR 動画「ILC in Action ~ 科学との出会い ~」を周知するため、動画の QR コードが掲載されている名刺サイズのカードを 3,800 枚作成。盛岡商工会議所創立 100 周年記念式典で配布、また当推進協議会会員へ郵送し、動画の拡散協力を依頼。



③ILC オリジナルグッズの販売

ILC を PR するためのノベルティグッズ（メモ帳・ビニール袋・トートバッグ・ポケットティッシュ等）を各自治体から要望を受けて制作。各自治体のイベント、講演会等で活用。

④ILC 誘致実現支援自動販売機の継続設置

みちのくコカ・コーラボトリング(株)様のご協力を得て、売上の一部が ILC の誘致実現の活動（当協議会の活動等）に寄付される自動販売機を県内 2 か所に継続して設置している。



盛岡市（マリオス 3F）



奥州市（ダイコー壱番館）

⑤イメージキャラクター「ILC そぼっち」の活用

ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であることのイメージの醸成のため、平成 27 年度に作成。当推進協議会会員等関係機関において広報物等に利用されている。

提供数：6 件（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日）



(6) 組織強化活動

ア. 会員増強

・9 会員減。

※法人・団体 5 減（新規加入 1、退会 6）、個人 4 減（退会 4）。会員状況については別掲。

イ. 産・学・官・関係機関との連携

■（一社）先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との連携

①総会

令和 6 年 6 月 17 日（月）9：00～10：30／国際文化会館 岩崎小弥太記念ホール

出席者 猿川事務局長

報告 2023 年度事業報告、理事会決議事項の件

議事 第一号 2023 年決算報告・監査報告の件

第二号 2024 年度事業計画の件

第三号 2024 年度予算の件

第四号 2024 年度役員選任の件

特別講演 「海外の状況と ILC 実現に向けた国際推進チーム（IDT）の活動」

国際推進チーム（IDT）議長 中田 達也 氏

（ア）理事会

第 44 回理事会

令和 6 年 5 月 14 日（火）13：00～14：30／三菱重工(株)会議室

出席者 谷村会長、随員：猿川事務局長

議事 ・2024 年度通常総会議案の件

・顧問委嘱の件

・事務局員任命の件

・事務局長任命の件

（イ）事務局会議

・AAA 事務局と役員団体事務局、各部会長を構成員とする第 37 回から第 42 回事務局会議が開催され、猿川事務局長が出席した。

■東北 ILC 推進協議会との連携

①総 会

令和 6 年 6 月 14 日（金）／ホテルモントレ仙台

議事 第 1 号議案 2023 年度事業報告並びに決算について

第 2 号議案 2024 年度事業計画並びに予算について

第 3 号議案 役員の選任（案）について

第 4 号議案 国際リニアコライダーの日本誘致に関する決議（案）について

講演 「ILC の日本誘致に向けての現状と課題について」

講師 高エネルギー加速器研究機構 機構長 浅井 祥仁 氏

②第 1 回幹事会

令和 6 年 6 月 9 日（木）14：00～15：00／オンライン

議事 (1) 2023 年度事業報告及び決算について

(2) 2024 年度事業計画（案）及び予算（案）について

(3) 役員の選任（案）について

(4) 国際リニアコライダーの日本誘致に関する決議（案）について

(5) 2024 年度総会開催（案）について

③第 2 回幹事会

令和 7 年 3 月 26 日（水）／オンライン

議事 (1) 2024 年度事業報告及び決算について

(2) 2025 年度事業計画（案）及び予算（案）について

■いわてまるごと科学館実行委員会との連携

いわてまるごと科学館

令和 6 年 11 月 30 日（土）／於：アイーナ

概要 岩手県 ILC 推進協議会ブースを出展。

岩手県 ILC 推進局とクイズや ILC-VR 体験の実施、

リーフレット、パネル・ポスターを展示。

当協議会作成の ILC うまい棒を配布した。



いわてまるごと科学館

■岩手県 ILC 推進局との連携

- ・ 随時、相互の活動状況や今後の活動計画等について意見交換を実施。

(7) 諸会議等

■役員会

①第1回役員会

令和6年6月10日(月) 13:30~14:50/於: ホテルメトロポリタン盛岡 NW

- 議事 (1) 令和5年度事業報告並びに収支決算について
(2) 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
(3) 任期満了に伴う役員の改選について

報告「岩手県の ILC 推進の取組について」

岩手県 ILC 推進局 箱石 知義 局長

講話「ILC 日本誘致の意志表明を」

岩手県立大学 鈴木 厚人 学長 (東北 ILC 事業推進センター代表)



谷村 邦久 会長



鈴木 厚人 学長

■幹事会

①第1回幹事会

令和6年5月28日(火) 10:00~11:00/於: 盛岡商工会議所

議事 (1) 役員会提出議案について

■監査会

令和6年5月28日(火) 11:00~11:30/於: 盛岡商工会議所

令和5年度会計監査を実施。

(8) 会員加入状況 (令和7年3月31日現在)

合計 500 会員 (法人・団体 463 会員、個人 37 会員)

※9 会員減: 年度当初 509 会員 (法人・団体 468、個人 41)

令和6年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支決算書

自)令和6年 4月 1日

至)令和7年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項目	決算額	予算額	対比増減(△)	備考
1. 会費	10,100,000	10,200,000	△ 100,000	
(1)法人会費	9,920,000	10,000,000	△ 80,000	予算:454会員/500口 → 決算:454会員/496口
(2)個人会費	180,000	200,000	△ 20,000	予算:36会員/40口 → 決算:34会員/36口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	1,672,510	800,855	871,655	・グッズ作成に係る負担金1,130千 ・東北ILC事業推進センター負担金返還金 226千 ・みちのく共生会寄付金 256千 ・自販機手数料 48千 ほか
4. 繰越金	15,777,145	15,777,145	0	
合計	28,049,655	27,278,000	771,655	

■支出の部

(単位:円)

項目	決算額	予算額	対比増減(△)	備考
1. 事業費	19,232,133	18,928,000	304,133	・全国向け普及啓発動画制作・広告発信費 5,944千 ・国会議員等への要望旅費・懇談会費 2,834千 ・公開講演会開催費(2回) 2,586千 ・東北ILC事業推進センター負担金 1,500千 ・広報グッズ作成費 (メモ帳・ビニール袋・トートバッグ・ポケットティッシュ等) 1,454千 ・ガイドラインシリーズ7(増刷)・8・9印刷費 1,365千 ・Iwate Colider School 2024共催負担金 1,000千 ・主催、共催講演会動画撮影・配信費 939千 ・欧州(CERN等)訪問旅費 420千 ・東北ILC推進協議会会費 100千 …など
2. 会議費	122,166	300,000	△ 177,834	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	2,339,488	2,200,000	139,488	
(1)旅費	550,800	300,000	250,800	推進団体総会等参加費
(2)印刷費	113,078	200,000	△ 86,922	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	475,610	500,000	△ 24,390	事業報告書・講演会案内等配送料、電話料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	274,646	300,000	△ 25,354	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	0	5,550,000	△ 5,550,000	
合計	21,968,433	27,278,000	△ 5,309,567	

次年度繰越

6,081,222

貸借対照表

令和7年3月31日

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,101,222	流動負債	20,000
現金		前受金	20,000
預金	6,101,222		
未収金			
固定資産	0	未処分剰余金	6,081,222
		当期剰余金	6,081,222
合計	6,101,222	合計	6,101,222

財産目録

令和7年3月31日

■資産の部		(単位:円)
1. 現金	0	
2. 普通預金	6,101,222 (岩手銀行)	
3. 未収金	0	
資産合計	6,101,222	
■負債の部		(単位:円)
1. 前受金	20,000 (令和7年度会費)	
負債合計	20,000	
差引正味財産	6,081,222	

令和6年度会計監査報告書

岩手県国際リニアコライダー推進協議会の令和6年度収支決算について監査をいたしましたところ、収入、支出ともに諸帳簿及び関係書類等と適合し、適正かつ正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

令和7年5月19日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

監事 宗形 金吉



監事 瀬川 浩昭



令和7年度事業計画（案）

国際協働施設である国際リニアコライダー（ILC）日本誘致をめぐる国際情勢は、中国の巨大円形加速器計画の進展と1年前倒しになった欧州素粒子物理戦略策定に向けた議論など、その動向を注視する必要がある。

国内においては、リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟の新体制による再始動が期待されるが、一方で自由民主党政務調査会「科学技術・イノベーション戦略調査会」において議論が進められている。

このようななか当推進協議会は、こうした国内外の動向を注視し、ILC計画を省庁横断による国家プロジェクトとして政府による早期の日本誘致への前向きな意思表示を示すよう国等への働きかけを一層、強化する。

その活動においては、「先端加速器（ILC）技術の社会への貢献 - 日本の未来の牽引力・稼ぐ力の創出 -」、「ILCの日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」に加え、あらたに「ILC実現による新しい地方創生」を主題としたガイドラインシリーズ10の発刊などにより、ILCがもたらす社会的意義、産業のイノベーション、経済波及効果等の発信に取り組む。

また、海外への情報発信も重要となっており、ILC建設の現地課題に取り組む東北 ILC 事業推進センターは、その成果を海外に情報提供する取組みを行っていることから、活動の支援と国内外への ILC 受け入れ準備状況の発信などの広報活動を連携して取り組むとともに、国際会議、国際スクールの開催支援等を行い、海外研究者等の来県時における連携を強化する。

さらに、政府決定の後押しには国民の盛り上がりが必要であることから、岩手県から東北、全国に発信する ILC 公開講演会等の開催や全国向け普及動画のPR強化など、各種の啓発活動を切れ目なく展開し、ILC 日本誘致実現に向け、岩手県、ILC 関係団体と万全を期して取り組む。

（1）国等への要望活動の強化

- 岩手県国際リニアコライダー推進協議会による要望活動
- ILC 建設地域期成同盟会ほか政産官学、地域連携による要望活動
- リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟との連携強化
- 経済3団体（日本商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会）との連携強化

（2）国内・外への ILC 実現にむけた活動

■国内PRの強化

アジア初の大型国際科学技術拠点となる ILC 日本誘致がもたらす価値や最先端加速器が生み出す未来など、世界最高峰の知と最先端の技術の集積による世界に波及するイノベーションを創出する ILC の社会的意義の発信のため、ILC 公開講演会を開催する。

また、国内外への拡散が重要なことから全国向け ILC 普及動画の発信強化や全国イベントにおける ILC ブースの出展などの啓発活動に切れ目なく取り組む。

■海外への情報発信強化

「第26回凝縮系核科学国際会議」（ICCF26）等の国際学会へのブース出展など、岩手県 ILC 推進局、東北 ILC 事業推進センターと連携し、候補地としての活動を積極的にPRする。

また、国際スクール「Iwate Collider School」等の開催を支援し、候補地としての情報発信に取り組む。

当推進協議会ホームページ「THE KITAKAMI TIMES」等を活用して、ILC 誘致実現に取り組む

情報や北上サイトの魅力など、世界に向けた情報発信は引き続き行う。

■普及啓発活動

ILCの最新動向や社会的意義等をテーマとしたILC公開講演会を開催し、県民、国民全体にILC計画の理解促進と啓発に取り組む。また、岩手県が主催する「まると科学館」等の県内イベントに関係団体等と連携して出展を行うとともに、全国イベントである「VACUUM2025 真空展」等、県外イベントにも積極的に参画する。

昨年度から取り組んでいる将来を担う子供たちに、ILCの意義やILCを支える技術、そして科学一般について興味を抱くことを目的とした「ILCと科学」-子どもたちのための勉強会-は好評を博したことから、本年度は「ミニ勉強会」も開催する。

7月28日「子供たちのための勉強会」 6月7日、6月21日「ミニ勉強会」

於：北上市さくらホール feat. ツガワ

■岩手県 ILC 連携室・オープンラボの活用支援

ILCの情報発信拠点、ILCを契機とした産業、人材育成の拠点として、平成30年4月に岩手県先端科学技術研究センター内に開設され、令和4年度に研究拠点として施設を拡充し、専門コーディネーターの指導による地元企業の研究活動に取り組む「岩手県 ILC 連携室・オープンラボ」の積極的な活用支援を行う。

(3) 調査・研究活動

■東北 ILC 事業推進センターの活動支援

ILC建設候補地周辺の環境整備や研究施設建設等に関する現地課題の検討に取り組んでいる東北 ILC 事業推進センターが行う「東北 ILC 施設計画改訂版作成」「まちづくりモデルケースの策定」などの ILC 立地に係る調査事業のほか、ILCを契機としたまちづくり・産業振興など、地域が主体となった準備活動に積極的に参画する。

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会と連携して、ILCへの加速器産業等参入機会の創出やネットワーク構築の支援に取り組む。

■「ガイドラインシリーズ」の発刊による情報発信強化

ILC建設・運用時におけるインバウンド効果や雇用創出効果など、ILC実現による新しい地方創生を主題とする、ガイドラインシリーズを発刊し、ILC実現による波及効果等を発信する。

(4) 広報活動

■全国向け ILC PR 動画「ILC in Action～科学との出会い～」の発信強化等

■YouTube 等 SNS ツールの活用

■ILC 啓発グッズの作成・配布、「ILC そばっち」の活用

■「VACUUM2025 真空展」等、各種イベントによる ILC 広報活動

(5) 組織強化活動

■ILC 日本誘致実現にむけた活動を強化するため、当推進協議会の会員増に努める。

■先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 推進協議会、ILC 計画研究会等と政産官学、地域連携の強化を図る。

(6) 諸会議等

■役員会・幹事会の開催

令和7年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支予算書(案)

自)令和 7年 4月 1日

至)令和 8年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備考
1. 会費	10,030,000	10,200,000	△ 170,000	
(1) 法人会費	9,860,000	10,000,000	△ 140,000	452会員/493口 × @20,000
(2) 個人会費	170,000	200,000	△ 30,000	32会員/34口 × @5,000
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000 × 経済5団体
3. 雑収入	1,230,778	800,855	429,923	ILC広報グッズ負担金(900千) 東北ILC事業推進センター負担金返還分(209千円)ほか
4. 繰越金	6,081,222	15,777,145	△ 9,695,923	
合計	17,842,000	27,278,000	△ 9,436,000	

■支出の部

(単位:円)

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備考
1. 事業費	14,000,000	18,928,000	△ 4,928,000	<ul style="list-style-type: none"> ・国会議員等への要望旅費・懇談会費 2,000千 ・国際学会等共催・負担金 (国際スクール、ICCF26等) 2,500千 ・PR動画発信広告費 1,500千 ・ILC公開講演会(年2回) 2,000千 ・東北ILC事業推進センター負担金 1,200千 ・ILCポスター等広報グッズ作成費 1,000千 ・ILC普及啓発イベント費 600千 ・ホームページ運用費 440千 ・ILCガイドラインシリーズ印刷・発送費 500千 ・事業報告書印刷費 400千 ・東北ILC推進協議会会費 100千 …など
2. 会議費	150,000	300,000	△ 150,000	役員会・幹事会等開催費
3. 事務費	2,350,000	2,200,000	150,000	
(1) 旅費	500,000	300,000	200,000	関係団体総会・役員会等旅費
(2) 印刷費	150,000	200,000	△ 50,000	資料コピー代、封筒代ほか
(3) 通信運搬費	500,000	500,000	0	広報物・事業報告書等配送料、電話料
(4) 事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	300,000	300,000	0	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	1,042,000	5,550,000	△ 4,508,000	
合計	17,842,000	27,278,000	△ 9,436,000	